

INTRODUCTION

はじめに：Vol.0 発刊にあたって

「学際研究は、発表する場がない」

こんな言い訳をなくすために、『といたうとい』は生まれました。

「——学」や「——分野」という分類はラベルでしかなく、
まして、理系や文系といった区分は便宜上のものでしかありません。

すべての事象は、複雑な関係性のなかに存在しており、
ひとつのアプローチで解決できる問いなど、ほんとうはないのです。
本誌では専門にこだわらず、「問い」の本質だけにフォーカスを当て、
真正面から学問に挑みます。

さらに、学問本来の姿を探求するため、研究者同士の「対話」を重視します。

オープンな場で執筆者と識者・編集委員が対話を重ね、
他者の視点から論考を磨くことで、リジェクトのための査読ではなく、
研鑽を生む編集のあり方を模索します。
論文の「形式」についても、過去のフォーマットにこだわりません。

本 Vol.0 は創刊準備号とし、

編集部からお声掛けした研究者のみなさまに

これまでになかった試みにお付き合いいただきました。

2022 年度の発行となる Vol.1 からは広く投稿を受け付けます。

(募集要項は P.108 に記載)

本誌は、分野や形式にこだわらず、
研究者から生まれる内発的な問いを世に出し、お互いを磨きあう場です。
こうした試みが、常に挑戦者たらんとする研究者や、
本質を掴もうとする多くの人々の学問に向き合う姿勢に刺激を与え、
それぞれの「問い」の深化に貢献できれば幸いです。

対話型学術誌『といたうとい』編集部